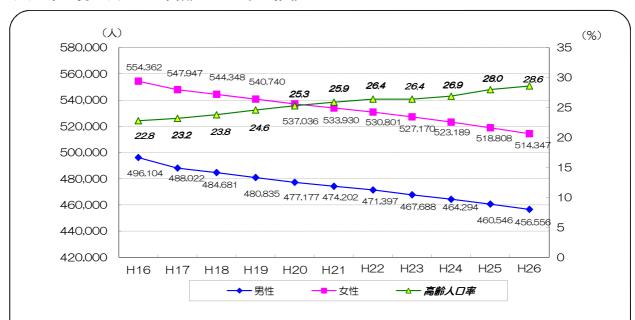
# 1 人口·人口動態

### (1) 県の男女別人口と高齢人口比率の推移

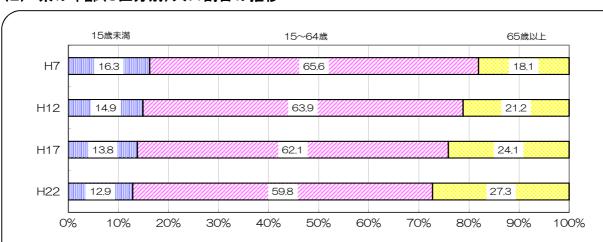


資料:総務省「国勢調査」(H17年、H22年)、その他は和歌山県「県人口調査」(10月1日現在) 「和歌山県における高齢化の状況」(各年3月31日現在の住民基本台帳人口)

#### ★ポイント★

- ◇ 平成16年から26年の10年間で、男性人口は、39,548人、女性人口は、40,015人減少している。
- ◇ 高齢人口比率は、平成16年から26年までの10年間で5.8ポイント増加し高齢化が進行している。

# (2) 県の年齢(3区分別)人口割合の推移

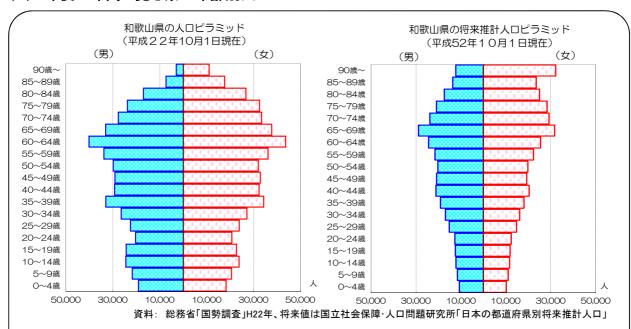


資料:総務省「国勢調査」H22年

# ★ポイント★

◇ 平成22年の年齢3区分別人口の割合は、15歳未満が12.9%(全国平均13.2%)、15~64歳が59.8%(全国平均63.8%)、65歳以上が27.3%(全国平均23.0%)となっている。

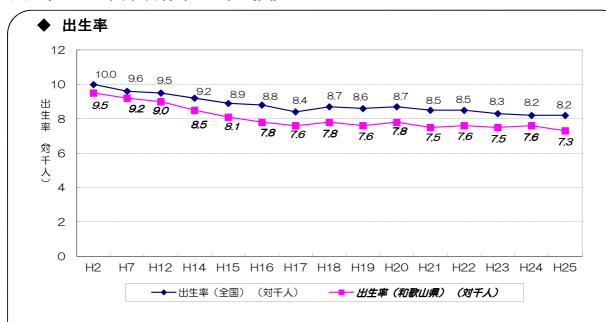
### (3) 今後30年間で見る県の年齢別人口



#### ★ポイント★

- ◇ 平成52年の和歌山県の推計人口は約70万人で、高齢化率は40%となると推定されている。
- ◇ 労働力人口が減る一方、高齢者人口は増えるため、十分な社会保障制度を維持していくことが困難になると考えられる。

## (4) 県の出生率、合計特殊出生率の推移

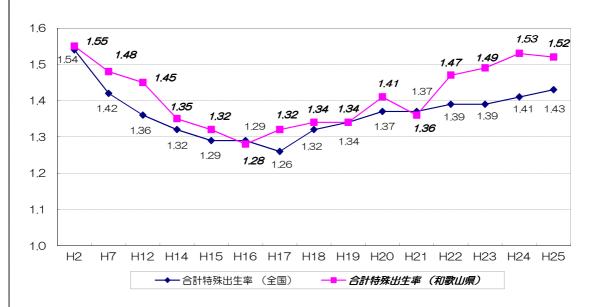


※ 出生率: {(年間の出生件数) / (10月1日現在日本人人口)} × 1,000 資料:厚生労働省「人口動態統計」H25年

### ★ポイント★

◇ 平成25年の全国の出生率(対千人)は8.2で平成24年と横ばいとなり、和歌山県においては7.3 で0.3ポイント減少し、少子化が進行しているといえる。

# ◆ 合計特殊出生率



※ 合計特殊出生率:15歳から49歳までの女性に限定し、各年齢ごとの出生率を足し合わせ、一人の 女性が生涯、何人の子どもを産むのかを推計したもの

資料:厚生労働省「人口動態統計」H25年

#### ★ポイント★

◇ 平成25年の和歌山県の合計特殊出生率は1.52で平成24年より0.01ポイント減少し、全国よりも 0.09ポイント高くなっているが、人口維持に必要といわれている2.07を大きく下回っている。